

年末懇親会に先立ち、同日の一六時三〇分から同会場内にあるコンファレンスルームにて、研修会が行われた。二九社 四八名の参加者。

今回のテーマは「二〇一九年 出版業界を占う！」と題し、混とんとしたこの業界に来年は明るい見通しがあるのかを聞くべく、業界の裏の裏まで精通している新文化通信社社長の丸島 基和 氏を講師にお招きして、お話を拝聴した。

最初は今年の業界十大ニュース（詳細は「新文化」を参照）から今年を振り返った。ほとんどのニュースが業界の厳しさを象徴するものだった。

来年も厳しい状況は続く様子。今年も様々なM&Aがあったように、来年も業界再編の動きが活発になるとのこと。一方でこのような状況下でも、今までの慣例を破るなど新たな試みを実施して、売上や利益が上がった書店や出版社の実例を聞く。そういう話を聞くともまだまだ工夫の余地があるのではないかと感じる。

スライドなし、配布資料なし、録音・録画、SNSへの投稿禁止令の中、「ここだけの話」が多く、本紙に詳細な内容を報告することができないのが残念だが、参加者は丸島社長の話に深い関心を持って耳を傾けていた。

（研修委員長 牛来 真也）